



雲青き

さいたま市立大成中学校 学校だより

令和6年3月4日



卒業を迎えるにあたって

校長 浅野 克裕

間もなく「第77回卒業証書授与式」が举行されますが、9年間の義務教育の集大成とも言える中学校の卒業式。3年生の生徒にとって大切な卒業式ですが、保護者の方々や兄弟姉妹などの家族、そして、教職員にとっても大切な卒業式です。3年生には、大成中学校の卒業式を人生の通過点として、これからたくさんの喜びや楽しみを味わい、苦難も乗り越えて欲しいと思います。

毎年、卒業式について同じ内容をこの学校だよりに書かせていただいています。やはり今年も伝えたいことは変わらないので、あえて記載いたします。

卒業式では、担任が一人ひとりと呼名し、これに対して卒業生は、「はい」と返事をしますが、この「はい」には多くの意味があると考えます。

一つ目は、「私は、3年間一生懸命頑張りました。努力しました。充実していました。」などの思いを、二つ目は、「これからの大人になる自分を見ていてください。未来に向かって前進します。」などという願いや希望を、そして三つ目は、「これまで、ありがとうございました。これからも応援よろしくお願いします。」といった感謝の気持ちなどがこの「はい」の二文字にはあると思います。

卒業生には、この二文字にすべての気持ちを込め、堂々と返事をしてほしいと願っています。

◎ この時期に庭で咲いたクリスマスローズです。↓

《卒業生の皆さんへ》

私の中学時代（卒業時期）を思い出してみました。当時、仲の良いメンバー8人で毎日を楽しく、ある意味賑やかに、明るい中学校生活を送っていました。確か卒業式は3月15日だったと記憶しています。4月1日から高校の入学式まで約1週間あり、そこでアルバイトをして小遣い稼ぎをしようという話になりました。アルバイトニュースという情報誌を買い、仲間と一緒にアルバイト探しをし、一つの受入先を見つけますが、私は親の了解が得られず、アルバイトはできませんでした。実際に仕事に行った仲間は3・4名いましたが、何と全員が1日で辞めてしまいました。あとから辞めた理由を聞くと、想像以上に仕事がつく、体力が持たず、全く勤まらなかったからとのことでした。私の経験は、決して望ましいとは言えません。ちなみに皆さんは、**3月31日までは、大成中学校の生徒としての在籍になります。**



公立受検を終え卒業式を迎えるまで、そして、卒業式後から新生活まで、卒業生の皆さんは、何をすべきでしょうか？ また、何ができるのでしょうか？ 受験からの解放感に浸るのもよし、趣味に明け暮れるのも良いでしょう。私の全くの個人的な意見ではありますが、是非、大成中の仲間との、さらなる思い出をつくって欲しいと思っています。

そして、大成中学校最後の授業である「卒業式」を成功させ、新しい道を歩んでください。

卒業生の合唱曲「あなたへ」が、どのような気持ちを込めて歌うのか、これまでの想いをどのように表現するのか、卒業式当日を楽しみにしています。最後まで**全力120%**で臨んでください。